

I T人材WG 経過報告

座長 有賀 貞一

1 開催実績

第1回情報経済小委員会（平成26年12月9日）において、I T人材WGで人材について検討することとされたことを踏まえ、以下のとおり開催して議論を行った。

○第1回（平成27年1月22日）

I T人材を巡る現状の整理及び検討の方向性の確認

○第2回（平成27年3月25日）

第3回情報経済小委員会の指摘等を踏まえた今後の論点の設定
外国人I T人材の積極的な活用、ユーザ企業を含めたI T業界の多重下請け構造の是正、情報セキュリティ人材の育成等について具体的な議論

○第3回（平成27年4月6日）

I o T時代におけるユーザ企業経営層向けのビジネス創出に資する教育、大学の視点からのI o T時代のI T人材育成、組込みソフトウェアベンチャーに求められるI T人材像等について議論

2 議論の概要

第1回WGにおいて、I T人材を巡る現状について認識を共有するとともに、①2020年時点におけるI T人材の確保方策、②今後のI o T時代に必要とされるI T人材の確保・育成の方向性について検討することを確認した（参考1）。

第2回WGにおいて、第1回WG及び第3回情報経済小委員会の議論を受けて、今後必要とされるI T人材をユーザ産業、従来型I T産業、I Tベンチャーといった類型毎に明確化し、その明確化されたI T人材毎に必要とされる対応について議論することとした（参考2）。

さらに、以下の論点につき具体的な議論を行い、それぞれ一定の方向性を得た。

○外国人I T人材の活用

外国人I T人材が就労する際の課題等を整理し、2020年に向けた外国人I T人材の活用促進策の方向性として、海外からのI T人材の留学及び採用ルート充実の方策について検討を実施。

○ユーザ企業を含めた I T 業界の多重下請け構造
多重下請け構造の改善のための取り組みとして、下請けガイド
ラインの改正の方針等について検討を実施。

○情報セキュリティ人材の育成
ユーザ企業における情報セキュリティ人材の育成のための情報
セキュリティマネジメント試験（仮称）の創設方針等について
確認

第 3 回WGにおいて、ユーザ企業経営者向けの I T ビジネス教育、
I o T 時代の人材育成として I T だけでなく複合分野の知見を持
つ人材の育成、G i t H U B の枠組みを参考にして技術者の技術力
評価を行うことの重要性等について検討を行った。

※第 4 回WG以降で、以下のような項目について議論を行い、方向
性を示す予定。

- ・最新のプロジェクト管理手法等の再教育
- ・コーディング技術者に対する新技術等の再教育
- ・I o T に係るオープンイノベーションの基盤整備
- ・I o T 時代における新たなビジネスモデルの構築に向けた環境
整備
- ・I T ベンチャー人材の確保・育成策（スタートアップアクセレ
レータの育成等）
- ・次代を担う I o T 人材育成のための若年層への教育機会の提供
等